

講師(五十音順)

会田誠(美術家)／秋元雄史(金沢21世紀美術館館長)／市川靖子(アートイベントPR)／遠藤一郎(未来美術家)／金島隆弘(アートフェア東京エグゼクティブ・ディレクター)／小泉明郎(美術家)／佐々木中(作家／哲学者)／沢山遼(美術批評)／塩原将志(アートオフィスシオバラ代表取締役)／塩見有子(AIT)／辛美沙(MISA SHIN GALLERY代表)／杉浦太一(株式会社CINRA代表取締役)／住友文彦(AIT)／墨屋宏明(野村総合研究所)／竹内万里子(写真批評家／京都造形芸術大学准教授)／長田哲征(オフソサエティ代表取締役)／永吉文子(SCAI THE BATHHOUSE)／保坂健二郎(東京国立近代美術館主任研究員)／堀内奈穂子(AIT)／光岡寿郎(メディア研究／ミュージアム研究)／宮津大輔(コレクター)／森司(公益財団法人東京都歴史文化財団 東京文化発信プロジェクト室 東京アートポイント計画 ディレクター)／森弘治(美術家)／柳下朋子(日本経済新聞社)／ヤノベケンジ(美術家)／山川冬樹(ホーメイ歌手／美術家)／山本裕子(山本現代代表)／吉本光宏(ニッセイ基礎研究所)／依田純子(元ハーバード大学シニア・フェロー)

MADプログラム・ディレクター

ロジャー・マクドナルド(AIT)

ケント大学にて宗教学修士課程修了後、美術理論にて博士号を取得。2006年の第一回「シンガポール・ビエンナーレ」キュレーター。東京造形大学非常勤講師。

小澤慶介(AIT)

ロンドン大学ゴールドスミスカレッジにて現代美術理論修士課程修了。MADではカリキュラム編成とレクチャーを担当。アートフェア東京アソシエイト・ディレクター、女子美術大学非常勤講師。

受講方法

1 コース制 テーマ集中型で、リーズナブルに受講

コースで指定されているレクチャーに加え、他のコースのレクチャーの中から2コマを自由に選択して受講することができます。

コースメイトと一緒に集中して学ぶことができるほか、受講料がお得です。一期のみ、あるいは通年で受講することが可能です。

コース名	各期の受講料	各期の定員
キュレーティング(指定10コマ+選択2コマ／各期)	¥53,550(税込／展覧会制作費込)	16名 前期(2012年4月-7月)、後期(2012年9月-12月)の2期制
モダン・アート(指定10コマ+選択2コマ／各期)	¥43,050(税込／FREE MADのテキスト付)	18名 前期(2012年4月-8月)、後期(2012年9月-12月)の2期制
インダストリー(指定10コマ+選択2コマ／各期)	¥53,550(税込／チュートリアル有)	18名 前期(2012年4月-7月)、後期(2012年9月-12月)の2期制
オーディエンス(指定8コマ+選択2コマ／各期)	¥42,000(税込／バス代込)	18名 前期(2012年4月-7月)、中期(2012年9月-12月)、後期(2013年1-3月)の3期制
アーティスト(指定8コマ+コマ2コマ／各期)	¥35,700(税込)	12名 前期(2012年4月-7月)、後期(2012年9月-12月)の2期制

2 クーポン制 行けるときに、好きなレクチャーを受講

受講したいレクチャー数に合わせてクーポンを購入し、好きなレクチャーを自由に選択して受講することができます。

詳しい受講のしかたは、AITのHPをご覧ください。クーポンの有効期間は、2012年4月から2013年3月までの一年間です。

クーポン名	受講料
シュプレマティスト(100コマすべて)	¥294,000(税込)
エクспRESSIONIST(50コマまで)	¥168,000(税込)
リアリスト(25コマまで)	¥89,250(税込)
インPRESSIONIST(10コマまで)	¥37,800(税込)
ミニマリスト(5コマまで)	¥19,950(税込)

3 コース制とクーポン制を組み合わせる

コースで集中的に学びながら、クーポンを購入して関心のあるレクチャーを自由に追加して受講することができます。

受講上の注意 ●「キュレーティングの実践ワークショップ」への参加は、シュプレマティストを除き、原則としてキュレーティング・コースの受講生に限られます。●クーポン制でオーディエンス・コースのバスツアーに参加する場合、別途バス代が必要になります。●展覧会の見学にかかる入場料は、受講生の負担になります。●掲載情報は、2011年12月現在のものです。レクチャーの内容やスケジュール、講師は変更される場合がありますが、事前に告知されます。●レクチャーは、各回定員40名で、おもに代官山のAITルームにて行われます。

申込方法

●MAD2012のお申し込みは、2012年1月20日(金)から受け付けます。AITのHPにて、MAD2012の概要や受講方法をご確認の上、オンライン申込フォームに必要事項を記入し、送信してください。お振り込みや受講についてのご案内メールをお送りします。FAXにてお申し込みをご希望の場合は、お問い合わせください。原則として、お申し込み完了後のキャンセルおよび返金は受け付けておりませんので、あらかじめご了承ください。

●お申込締切＝4月開講のコースは、3月28日(水)。その他、中期および後期開講のコースについては、AITのHPをご覧ください。クーポンの購入は2013年2月まで随時受け付けています。

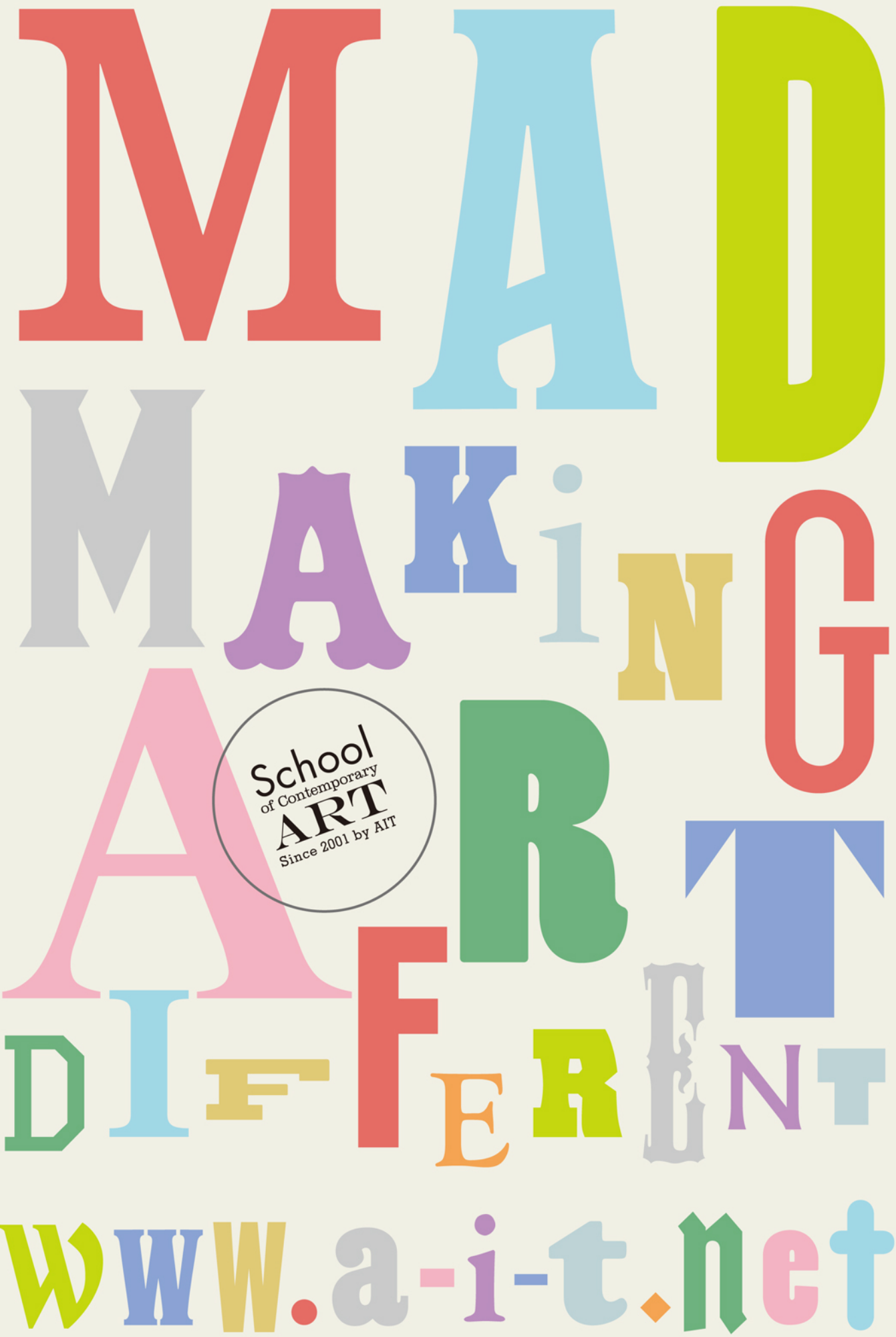
●お得な割引＝2012年2月29日(水)までにお申し込みいただいた方は、受講料が10%割引となります。その他、さまざまな割引をご案内しますので、詳細はAITのHPをご覧ください。

●MAD2012受講ガイダンス＝コース説明や受講に関する相談を随時行っております。詳しくは、AITのHPをご覧ください。

NPO法人アーツイニシアティヴトウキョウ[AIT／エイト]とは？——キュレーターやアート・オーガナイザーが、現代アートと視覚文化から社会を考えるための場作りを目的として、2002年に設立したNPO団体です。個人や企業、財団あるいは行政と連携しながら、現代アートの複雑さや多様さ、驚きや楽しさを伝え、それらを成立させている文化や社会について話し合う場をさまざまなプログラムをとおして創り出しています。



NPO法人アーツイニシアティヴトウキョウ[AIT／エイト]
〒150-0033 東京都渋谷区猿楽町30-8 ツインビル代官山B403
Tel: 03-5489-7277 Fax: 03-3780-0266
E-mail: mad@a-i-t.net http://www.a-i-t.net



MAD Making Art Different

現代アートの学校、MAD (Making Art Different)—アートを変えよう、違った角度で見てみよう。

テーマ別のコースで集中的に学ぶか、好きなレクチャーだけつまみ食いするか。それとも、両方組み合わせでカスタマイズするか?現代アートへ、さまざまな角度からアプローチ!

「キュレーティング」、「モダン・アート」、「インダストリー」、「オーディエンス」、「アーティスト」の5コース、年間合計100のレクチャーで構成される2012年度のMAD。少人数制の講座では、アーティストや美術館館長などの講師と受講生のみなさんは仲間のような感覚。さまざまに意見を交換しながら、アートをより身近なものにします。受講のしかたは、コース制、クーポン制、あるいはコースとクーポンを組み合わせる三つ。目的や関心、スケジュールに応じて自由に組み立て、みなさん独自のスタイルで学ぶことができます。表現の裏に隠れている歴史や理論を知ったり、展覧会を企画したり、友だちと一緒にイベントに出かけたり、これまでにないアート・ビジネスを考えたり、表現を「作品」にするプロセスに取り組んだり、今のアート界を丸ごと学ぶことができるMADで、きっとみなさんの「世界」の見え方が変わるはずです。

2012年度のMADは、2012年4月から2013年3月まで開講します。

MADの特徴は?

- アートの知識がなくても、今の表現に触れ、少し踏み込んで考えてみたいという熱意があれば大丈夫。
- アート界で活躍しているアーティストやキュレーターなどと直接意見交換ができる。
- レクチャーとワークショップで、理論や歴史、実践から現代アートにアプローチできる。
- 自分の仕事とアートの接点を探り、アート界で働きはじめる前の業界研究ができる。
- 少しでも試したい方や忙しい方は、クーポン制で気軽に受講できる。

コースメイトやキュレーターといっしょに展覧会を作ろう!

キュレーティング・コース

アートをとおして、個人の趣味嗜好や地域社会、あるいは異文化や時代性などをどのように表し、伝えることができるのでしょうか。展覧会制作を表す「キュレーティング」。そのはじまりから現代における理論や議論までを踏まえ、実際に前期・後期に一つずつ展覧会作りを体験します。

前期 (2012年4月～7月)

キュレーティングの方法論

1. キュレーティングA to Z—大航海時代から20世紀へ ロジャー・マクドナルド (AIT)／小澤慶介 (AIT)
2. 伝統に反抗するキュレーティングの自由 ロジャー・マクドナルド (AIT)／小澤慶介 (AIT)
3. 美術館の社会学—変わり続ける美術館のこれから 光岡寿郎 (メディア研究／ミュージアム研究)
4. 展覧会=国家?—二つの世界大戦とキュレーティング ロジャー・マクドナルド (AIT)／小澤慶介 (AIT)
5. 「展覧会」を疑え!—戦後の社会変革とキュレーティング ロジャー・マクドナルド (AIT)／小澤慶介 (AIT)
6. 表現の自由を求めて—日本の戦後と展覧会 ロジャー・マクドナルド (AIT)／小澤慶介 (AIT)
7. 眼から頭へ—グロバリズムと多様化するキュレーティング ロジャー・マクドナルド (AIT)／小澤慶介 (AIT)
8. 空間の読解力とキュレーティングの可能性 小澤慶介 (AIT)
9. キュレーティングの実践ワークショップI 小澤慶介 (AIT)
10. キュレーティングの実践ワークショップII 小澤慶介 (AIT)

後期 (2012年9月～12月)

変容する現代のキュレーティング

1. 市場経済とキュレーティングの課題 小澤慶介 (AIT)
2. 「他者」はどう表わせる?—ポスト・コロニアルな現在とキュレーティング 小澤慶介 (AIT)
3. キュレーティングで生産される記憶の質感 小澤慶介 (AIT)
4. 秘密と記号—日常におけるキュレーティング ロジャー・マクドナルド (AIT)
5. キュレーティングの実践ワークショップI 小澤慶介 (AIT)
6. アートは地域社会にどう関わる? 住友文彦 (AIT)
7. ドキュメンテーションとアーカイヴ—記録をキュレーティングする 住友文彦 (AIT)
8. キュレーティングの実践ワークショップII 小澤慶介 (AIT)
9. 複雑な歴史と分裂するオキナワの表象 小澤慶介 (AIT)
10. 知の生産とキュレーティング ロジャー・マクドナルド (AIT)／小澤慶介 (AIT)

「芸術」が「現代アート」になる旅へ出よう!

モダン・アート・コース

「難しい」といわれる現代アート。そこに至る道を、皆さんになじみのある19世紀フランスのマネやゴッガンなどから辿ります。美術史に触れながらアートに対する固定観念を解放してゆくと、自分なりのアートの見方がはつきりしてきます。現代アートを初めて体系的に学びたいという方におすすめです。さらに、オンラインのFREE MADが、みなさんの学びをより確かなものにしましょう。

前期 (2012年4月～8月)

アートの価値が問われる1900年から1950年

1. 20世紀のアートを彩る言葉とコンセプトを知ろう! ロジャー・マクドナルド (AIT)
2. ゴッガン、ピカソ、プリミティヴな世界への衝動 ロジャー・マクドナルド (AIT)
3. 絵画の革命—マティス、マグリット、メキシコの壁画運動 ロジャー・マクドナルド (AIT)
4. 伝統をひっくり返すマニフェスト—ダダ、シュルレアリスム ロジャー・マクドナルド (AIT)
5. アートが社会を変える?—ロシア革命と社会主義リアリズム ロジャー・マクドナルド (AIT)
6. 複製芸術の到来と大衆文化の深い関係 ロジャー・マクドナルド (AIT)
7. 戦争がアートに与えたインパクト ロジャー・マクドナルド (AIT)
8. ヨーロッパからアメリカへ—バウハウスとブラックマウンテン・カレッジ 沢山遼 (美術批評)
9. アメリカ:抽象へと向かう絵画とアフリカ文化の影響 ロジャー・マクドナルド (AIT)
10. アメリカ:絵画は死んだ? ロジャー・マクドナルド (AIT)

後期 (2012年9月～12月)

アートの多様化、グローバル化へ向かう1951年から現代

1. ポップ—アートが日常に溶けこむとき ロジャー・マクドナルド (AIT)
2. 彫刻の新しい地平とインスタレーション ロジャー・マクドナルド (AIT)
3. コンセプトチュアル・アートと美術館批判 ロジャー・マクドナルド (AIT)
4. 多様で複雑になるアート—表現の表と裏を考える ロジャー・マクドナルド (AIT)
5. 女性の声、女性による表現 堀内奈穂子 (AIT)
6. それでも絵画は生き延びる?—1970年代以降の絵画 ロジャー・マクドナルド (AIT)
7. 今、絵画はなぜ存在するのか?—グローカリズムの時代におけるイメージの役割 保坂健二郎 (東京国立近代美術館主任研究員)
8. プロジェクト化するアート—地域社会に入りこむアートのかたち ロジャー・マクドナルド (AIT)
9. イメージの政治学と写真の可能性 竹内万里子 (写真批評家／京都造形芸術大学准教授)
10. 映像がアートになるとき—20世紀の光と影 ロジャー・マクドナルド (AIT)

ビジネスと社会貢献でアートの地平を切り開こう

インダストリー・コース

「アート界で働きたい」、「アート・ビジネスや社会貢献に関心がある」あるいは「社内でアートの企画を立ち上げたい」などと考えている人は少なくないはず。アート界というフレーム、アーティストやキュレーターなどのプレーヤーを知り、共感できる仲間を増やすことで、みなさんの独創的なアイデアを形にします。プランの実現を目指す方は、AITオフィス・アワー内でより具体的なアドバイスを受けることもできます。

前期 (2012年4月～7月)

アート界というフィールドとプレーヤー

1. アート界の仕組みと動き 塩見有子 (AIT)／小澤慶介 (AIT)
2. アートを仕事にするために 墨屋宏明 (野村総合研究所)／永吉文子 (SCAI THE BATHHOUSE)
3. アートの価値はどのように生まれるか 塩見有子 (AIT)
4. アートフェアから考えるアジアのアート地政学 金島隆弘 (アートフェア東京エグゼクティブ・ディレクター)
5. 国内外で活躍するギャラリーの仕事 山本裕子 (山本現代代表)
6. 美術館を経営する時代とは 秋元雄史 (金沢21世紀美術館館長)
7. コレクターが切り開くアートの可能性 宮津大輔 (コレクター)
8. 新しいアートプロジェクトを考えるワークショップ 塩見有子 (AIT)／堀内奈穂子 (AIT)
9. 日本の文化政策の潮流と社会的課題に対峙するアート 吉本光宏 (ニッセイ基礎研究所)
10. アートプロジェクトの企画発表 塩見有子 (AIT)／小澤慶介 (AIT)

後期 (2012年9月～12月)

新たなアート・ビジネスを考える

1. アート・マネジメントの落とし穴 塩見有子 (AIT)
2. アート、美術館、地域ブランディング 長田哲征 (オフソサエティ代表取締役)
3. アートをビジネスにする I—ネット・メディアで生き残る、3つの方法 杉浦太一 (株式会社CINRA代表取締役)
4. アートをビジネスにする II—アート・ディリングの世界 塩原将志 (アートオフィスシオバラ)
5. アートを言葉にして伝えるには?—広報を極める 市川靖子 (アートイベントPR)
6. アート+地域資源=文化拠点の創造 森司 (公益財団法人東京都歴史文化財団 東京文化発信プロジェクト室 東京アートポイント計画ディレクター)
7. 企業はアートでどう変わる? 塩見有子 (AIT)／堀内奈穂子 (AIT)
8. ビジネスプランを考えるワークショップ 依田純子 (元ハーバード大学シニア・フェロー)／塩見有子 (AIT)
9. カルチュラル・エージェント—アートとリーダーシップで社会変革 依田純子 (元ハーバード大学シニア・フェロー)
10. ビジネスプラン発表会 依田純子 (元ハーバード大学シニア・フェロー)／塩見有子 (AIT)

「今」のアートのさまざまな表情を眺めよう!

オーディエンス・コース

「アートって、何?」という素朴な疑問に、さまざまな角度からアプローチする入門的なコースです。時代のトレンドを生み出したり、見知らぬ世界観を表したり、人の役に立ったり、アートにはさまざまな「顔」があります。アーティストによるトークやレクチャー、美術館やアートのスポットの見学、ワークショップをとおして仲間と語り合いながら、今おこっているアートから考え始めます。 ※各期、専用バスでの美術館訪問があります。訪問先はAITのHPで随時お知らせします。

前期 (2012年4月～7月)

モノや行為がアートになるとき

1. アートとは何か? I—アートを生産し、流通させること 小澤慶介 (AIT)
2. 世界のアートは、今 I—一句のアートをナナメ読み ロジャー・マクドナルド (AIT)／小澤慶介 (AIT)
3. アートを巡る経済学 辛美沙 (MISA SHIN GALLERY代表)
4. アートの現場に行こう! 塩見有子 (AIT)／小澤慶介 (AIT)
5. アートの力=アート+組織力 ヤノベケンジ (美術家)
6. アート・コレクターが作る「世界」 塩見有子 (AIT)／堀内奈穂子 (AIT)
7. アートを言葉に—考えに輪郭を! 柳下朋子 (日本経済新聞社)／小澤慶介 (AIT)
8. オルタナティブって何? 堀内奈穂子 (AIT)

中期 (2012年9月～12月)

見知らぬことを考える力

1. アートとは何か? II—知ることをあきらめない力 小澤慶介 (AIT)
2. 来るべき世界を受けとめるために 佐々木中 (作家／哲学者)
3. 世界のアートは、今 II—一句のアートをナナメ読み ロジャー・マクドナルド (AIT)／小澤慶介 (AIT)
4. 美術館に行こう!—知られざる過去への旅 塩見有子 (AIT)／小澤慶介 (AIT)
5. もう1人の自分を見つける方法 小泉明郎 (美術家)
6. 日本におけるアール・ブリュットの現在 保坂健二郎 (東京国立近代美術館主任研究員)
7. アートを言葉に—展覧会を読み解く 柳下朋子 (日本経済新聞社)／小澤慶介 (AIT)
8. アートは社会をどう変えられるか? 堀内奈穂子 (AIT)

後期 (2013年1月～3月) のテーマ

世界を見る力、変える力

1. アートとは何か? III—アートから見える世界の構え 小澤慶介 (AIT)
2. 声と身体がアートになるとき 山川冬樹 (ホーメイ歌手／美術家)
3. アートを言葉に—作品の背景を読み解く 柳下朋子 (日本経済新聞社)／小澤慶介 (AIT)
4. アーティストの条件—いつも外に立つ人として 会田誠 (美術家)
5. アートスペースの方法論—変容するアートの現場 堀内奈穂子 (AIT)
6. パフォーマンスや文学からアートを眺める ロジャー・マクドナルド (AIT)／小澤慶介 (AIT)
7. 1日24時間、365日アーティスト 遠藤一郎 (未来美術家)
8. 2010年代、アートの可能性 ロジャー・マクドナルド (AIT)／小澤慶介 (AIT)

スタジオから世界に出てゆく表現者へ

アーティスト・コース

時代感覚、スキル、ギャラリー、人脈、美術館、ストリート……。アーティストとして活動するためには何が必要なのでしょうか。かのマルセル・デュシャンは、200年後も芸術作品として残ることを意識して制作していたといえます。レクチャーやディスカッションをとおして、自分の表現を社会的な価値にするための基礎的な思考力をつけませんか?すべての回は、森弘治 (美術家)と小澤慶介 (AIT) によって行われるほか、ゲスト講師を迎えてのケース・スタディーもあります。さらに、コースで受講する方は、受講期間をとおしてポートフォリオの作成を試みます。

前期 (2012年4月～7月)

表現を「作品」にする

1. 多様化する「アートの文法」について
2. 受講生による作品のプレゼンテーション
3. 作品と展示空間を自分のものにするために
4. アートの種を形にする方法について
5. スタジオから展示空間へ
6. 作品を展覧会で上手に見せるために
7. 素材と表現と目的の関係式を考える
8. 「アート」を上手に使う方法

後期 (2012年9月～12月)

「現代」を映し出す作品を考える

1. 100年前の世界の「現代」を考える
2. アーティストの「現代」に対する距離感と表現媒体
3. リアリティの読解力をつける
4. アーティストが行う調査研究とは?
5. 時代の表情を描き出す方法を考える
6. 100年後の世界から「現代」のアートを考える
7. 受講生による作品のプレゼンテーション
8. アーティストとしての戦略を考える



現代アートを学ぶ楽しさを、すべての人に
2012年1月、オンラインで学べる無料
レクチャー「FREE MAD」を公開!

バブロ・ピカソ、マルセル・デュシャン、アンリ・マティス...20世紀のアートを変えた事件や作品、アーティストについて、100以上のレクチャーでわかりやすく解説。
忙しい社会人も、手軽にアートを学ぶ機会を探している人も、留学中の人も、いつでもどこでもアクセス可能。
4月開講のMAD受講前に、1900年から2000年までのアートをスマートに学習。開講後は、復習にも。

www.a-i-t.net